

第6表 妻木晩田遺跡出土石鍾

	地区	遺構番号	時期	溝		備考	地区	遺構番号	時期	溝		備考	
				縦	横					縦	横		
1	松尾頭	SK109	IV-3	○			13	妻木山	SD08	V-3		○	
2	松尾頭	SS14	V-2		○	破損品	14	妻木新山	SI09	V-3	○	○	
3	妻木山	SI42	V-2	○	○		15	妻木山	SI47	VI-1	○	○	
4	妻木新山	SI33	V-2	○			16	松尾頭	SI93	VI-2		○	
5	妻木新山	SI37	V-2		○		17	妻木山	SI121	VI-2		○	
6	妻木新山	SI38	V-2			上端打ち欠き?	18	妻木新山	SI36	古墳前期	○		
7	松尾頭	SI33	V-3	○	○		19	松尾頭	SI32	古墳前期末 ~中期	○	○	
8	松尾頭	SI41	V-3	○	○								
9	松尾頭	SI42	V-3	○			20	妻木新山	SB125	-	○	○	
10	松尾頭	SI42	V-3		○		21	河ノ原	-	-		上下端打ち欠き	
11	松尾頭	SI46	V-3	○	○	横方向に3条の溝	22	河ノ原	-	-	○		
12	妻木山	SI117	V-3			横打ち欠き	23	妻木新山	SI89	V-3	○	○	横方向に2条の溝

第7表 土器観察表

凡例 1 挿図・番号は本文中の挿図番号に対応する。  
 2 残存率については、口縁部、脚部、底部の残存する割合を示している。  
 3 法量については、完形のもの以外は次の数値を示している。  
 器高：残存値 口径：推定値

4 焼成、胎土については、以下のような記号を用いる。  
 焼成：硬質-A、良好-B、軟質-C 胎土：密-A、やや粗-B、粗-C  
 5 砂粒の量については、以下のような記号を用いる。  
 多く含む-A、やや含む-B、微量に含む-C  
 6 色調は、『新編 標準土色帖』による。

18MN トレンチ1 土器観察表														
挿図番号	遺構	層位	器種	残存部位	残存率	法量 (cm)		焼成	胎土	砂粒		色調	調整等	備考
						器高	口径			大きさ (mm)	量			
12 1	SI89	床直	甕	口縁~頸部	1/8	4.3	16.3	B	A	1	A	外面: ぶい黄褐色 内面: ぶい黄褐色	外面: 口縁部に多条平行沈線、以下はハケム調整の後ナデ調整 内面: 口縁部はナデ調整、以下はケズリ調整	外面煤付着
12 2	SI89	床直	器台	脚部		9.4		B	A	1	A	外面: 淡黄褐色 内面: 淡黄褐色	外面: 脚部部に不明瞭な平行沈線文、脚部は風化が激しく調整不明 内面: 脚部部はケズリ後ナデ調整、脚部はナデ調整	脚径: 15.2cm 脚部外面に黒斑あり
12 3	SI89	床直	甕	口縁~頸部	1/2	17.5	14.4	B	A	1~4	B	外面: 橙色、淡黄褐色、 灰黄褐色 内面: 橙色、淡黄褐色	外面: 口縁部に7~8条の平行沈線、以下はハケム調整の後ナデ調整 内面: 口縁部はナデ調整、以下はケズリ調整	頸部最大径: 17.3cm 外面全体煤付着
12 4	SI89	床直	壺	完形		21.9	18.5	B	A	1	A	外面: 淡黄褐色、 灰黄褐色 内面: ぶい黄褐色、 灰褐色	外面: 口縁部は平行沈線の後ミガキ後下部のみナデ消し、頸部はミガキ調整、頸部下部に貝殻線による押し文、脚部は縦方向の後横方向のミガキ調整、底部にはミガキ調整 内面: 口縁部はハケム後ミガキ調整、頸部はケズリ調整、以下脚部はケズリ調整後ナデまたはミガキ調整、ケズリ調整後ミガキ調整または指押さえ(ナデ調整)	頸部最大径: 22cm 底径: 9.4cm 口縁部 内面: 赤色顔料塗彩 外面: 煤付着 頸部は外面に多量に煤付着
12 5	SI89	床直	甕	完形		30.8	18.7	B	A	1~2	A	外面: 橙色 内面: 橙色	外面: 口縁部に7条の平行沈線、以下はハケム後ナデ調整が残るが全体的に風化の高調整不明瞭、頸部下部には工具による刺突文 内面: 口縁部はハケム後ナデ調整、以下はケズリ調整、底部はナデ調整	頸部最大径: 23.6cm 底径: 5.4cm 外面に煤付着
12 6	SI89	床直	甕	口縁~頸部 頸部~底部	1/2	4.8 頸部 18.1	19.2	B	A	1~2	A	外面: 淡黄褐色 内面: 淡黄褐色	外面: 口縁部から頸部上部はナデ調整、頸部中ほどはハケム調整、以下ハケム調整の後ナデ調整、底部は指押さえた後ナデ調整 内面: 口縁部はナデ調整、以下はケズリ調整、底部は指押さえた後ナデ調整	頸部最大径: 22.1cm 底径: 5.2cm 外面脚部中ほどに煤付着
12 7	SI89	埋土	甕	口縁~頸部	1/3	4.5	14.4	B	A	1	A	外面: 橙色 内面: 淡黄褐色	外面: 口縁部には2条の凹線、以下はナデ調整、頸部下部には刺突文 内面: 口縁部はナデ調整、以下はケズリ調整の後ナデ調整	外面にわずかに煤付着
12 8	SI89	埋土	壺	口縁~頸部	1/10	2.5	19.5	B	A	1	A	外面: 橙色、明黄褐色 内面: 橙色、明黄褐色	外面: 口縁部には3条の平行沈線、以下はナデ調整、口縁上端部は欠損 内面: 口縁部はナデ調整、以下剥離により不明	外面口縁、頸部に煤付着
12 9	SI89	埋土	甕	口縁~頸部	1/10	2.8	16.2	B	A	2	A	外面: 橙色 内面: ぶい黄褐色、 黒褐色	外面: 口縁部は5条の平行沈線、口縁下端部は欠損、以下ナデ調整 内面: ナデ調整	
12 10	SI89	埋土	甕	口縁~頸部	1/5	5.7	14.4	B	A	1	A	外面: 橙色 内面: ぶい黄褐色	外面: 口縁部は多条平行沈線、以下はナデ調整、頸部上部に穿孔、頸部下部には梳状文 内面: 口縁部から頸部全体にかけてナデ調整、頸部上部はケズリ調整	
12 11	SI89	埋土	甕	口縁部	1/10 以下	3.4	21.0	B	A	1	A	外面: 橙色 内面: 橙色	外面: 口縁部は多条平行沈線、以下ナデ調整 内面: 口縁部から頸部全体にかけてナデ調整	
12 12	SI89	埋土	甕	口縁~頸部	1/4	5.6	20.5	B	A	1	A	外面: 明黄褐色 内面: 淡黄褐色	外面: 口縁上部に1条の凹線、口縁部は多条平行沈線、頸部以下ナデ調整 内面: 口縁部はナデ調整、以下はケズリ調整	口縁下部部に煤付着

I 妻木院田遺跡の調査

神田番号	遺構	層位	器種	残存部位	残存率	法量(cm)		焼成	胎土	砂粒の量		色調	調整等	備考	
						器高	口径			大きさ(mm)	量				
12	13	SI89	埋土	甕	口縁～頭部	1/10以下	2.5	14.9	B	A	1	A	外面:橙色 内面:橙色	外面:口縁部から頸部はナデ調整,口縁上端部は欠損 内面:口縁部はナデ調整,以下はケズリ調整	
12	14	SI89	埋土	器台	受部	1/10以下	4	18.2	B	A	2	A	外面:橙色 内面:橙色	外面:受部上部は3条の平行沈線,以下風化が激しく調整不明 内面:風化が激しく調整不明	
12	15	SI89	埋土	高坏	筒部	1/3	6.4		B	A	1	A	外面:にぶい黄橙色 内面:暗灰黄色、 にぶい黄橙色	外面:首部はハケメ調整の後ミガキ調整 内面:ケズリ調整	
12	16	SI89	埋土		底部	1/6	2.3		B	A	2	A	外面:にぶい黄橙色 内面:黄灰色	外面:底部立ち上がり部分ハケメ調整,底面ナデ調整 内面:立ち上がり部分ケズリ調整,底面ナデ調整	底径:5cm
12	17	SI89	埋土		底部	1/5	2.5		B	A	1	A	外面:橙色 内面:にぶい黄橙色	外面:底部立ち上がり部分ハケメ調整 内面:ケズリ調整の後ナデ調整	底径:5cm 内外面はわずかに煤付着
12	18	SI89	埋土		底部	1/7	2.5		B	A	2	A	外面:灰黄褐色 内面:にぶい黄橙色	外面:ナデ調整 内面:ナデ調整	底径:7.2cm
12	19	SI89	埋土		底部	1/3	3.8		B	A	1.5	A	外面:灰色、にぶい赤褐色 内面:オリーブ黒色	外面:底部立ち上がり部分ナデ調整および指押さ 内面:ケズリ調整	底径:4.2cm
12	20	SI89	埋土		底部	1/2	4.5		B	A	2	A	外面:明黄褐色、橙 内面:明黄褐色	外面:底部立ち上がりハケメ調整の後ナデ調整,底面ナデ調整 内面:風化が激しく調整不明	底径:7.1cm
13	1	SI	埋土	甕	口縁部	1/10以下	2.2	13.5	B	A	1	A	外面:明黄褐色、 灰黄色 内面:明黄褐色	外面:口縁部は3条の平行沈線,以下ナデ調整 内面:ナデ調整	少量煤付着
13	2		II	甕	口縁部	1/10	1.9	14.2	B	A	1	A	外面:橙色 内面:橙色	外面:口縁部は4条の平行沈線(3条の箇所あり),以下ナデ調整 内面:ナデ調整	頭部付近に煤付着
13	3		II	壺	口縁～頭部	1/8	2.6	14.8	B	A	1	B	外面:橙色、 オリーブ黒色 内面:橙色	外面:口縁部は4条の平行沈線,以下ナデ調整の後ミガキ調整,口縁下端面欠損 内面:口縁部はナデ調整,以下ケズリ調整	
13	4		II	甕	口縁～頭部	1/8	3.7	10.4	B	A	1	A	外面:橙色 内面:淡黄褐色	外面:口縁部は多条平行沈線,以下ナデ調整 内面:ナデ調整	
13	5		II	甕	口縁～頭部	1/6	2.3	14.6	B	A	1	C	外面:にぶい黄褐色 内面:にぶい黄褐色	外面:口縁部は4条の平行沈線,以下ナデ調整 内面:ナデ調整	
13	6		II	甕	口縁～頭部	1/10	2.7	12.8	B	A	1	A	外面:橙色 内面:橙色	外面:口縁部は多条平行沈線,以下ハケ状工具によるナデ調整,口縁上端部欠損 内面:口縁部はナデ調整,以下ケズリ調整	頭部外面に煤付着
13	7		II	壺	口縁～頭部	1/10以下	2.9	10.9	B	A	1.5	A	外面:淡黄褐色 内面:灰黄色	外面:ナデ調整 内面:ナデ調整	
13	8		II	甕	口縁～頭部	1/10以下	3.4	19.6	B	A	1	A	外面:淡黄褐色 内面:淡黄褐色	外面:口縁部は5条の平行沈線,以下ナデ調整 内面:口縁部はナデ調整,以下ケズリ調整	
13	9		II	甕	口縁～頭部	1/8	4.9	13.0	B	A	1	A	外面:淡黄褐色、橙 内面:淡黄褐色	外面:口縁部は6条の平行沈線,以下ナデ調整 内面:口縁部はナデ調整,頸部のみミガキ調整,頸部下以下ケズリ調整の後ナデ調整	口縁部外面煤付着
13	10		II	甕	口縁部	1/10以下	3	13.3	B	A	1	A	外面:にぶい黄褐色 内面:にぶい黄褐色	外面:口縁部は6条の平行沈線,以下ナデ調整,頸部付近よりハケメ調整 内面:口縁上部はミガキ調整の後ナデ調整,以下ナデ調整	
13	11		II	甕	口縁～頭部	1/10以下	2.7	13.5	B	A	2	A	外面:淡黄褐色 内面:淡黄褐色	外面:口縁部は3条の平行沈線,以下ナデ調整,口縁上端部は欠損 内面:ナデ調整	外面全体に煤付着
13	12		II	高坏	脚部	1/8	2.3		B	A	1	A	外面:にぶい黄褐色、 にぶい赤褐色 内面:橙色	外面:脚台部は3条の平行沈線,脚部はナデ調整,脚台下端部は欠損 内面:脚台部はナデ調整,脚部はケズリ調整	脚径:15.9cm 外面、内面に赤色 顔料塗彩
13	13		II		底部	1/4	2.2		B	A	1	A	外面:にぶい黄褐色、 暗灰黄色 内面:にぶい黄褐色	外面:ナデ調整 内面:ナデ調整	底径:5.9cm

18MN トレンチ2土器観察表

16	1	SS17 ~18	埋土	甕	口縁部	1/10以下	2.2	12.2	B	A	1	C	外面:橙色 内面:橙色、にぶい黄褐色	外面:口縁部は2条の平行沈線,以下ナデ調整だが 頸部付近は風化により剥離,口縁上端部は欠損 内面:ナデ調整	
16	2	SS17 ~18	埋土	甕	口縁部	1/10	2.3	14.8	B	A	2	A	外面:橙色、にぶい黄褐色 内面:にぶい赤褐色、橙	外面:口縁部は11条の凹線,以下ナデ調整,口 縁上端部は剥離 内面:ナデ調整	

棟号	番号	遺構	層位	器種	残存部位	残存率	法量 (cc)		焼成	胎土	砂粒の量		色調	調整等	備考
							器高	口径			大きさ	量			
16	3	SS17 ~18	埋土	甕	口縁~頭部	1/10 以下	3.5	13.8	B	A	1~4	A	外面:浅黄褐色、明黄褐色 内面:浅黄褐色、明黄褐色	外面:口縁部は2条の平行沈線(凹部に線状の工具痕あり)、以下ナデ調整 内面:口縁部から頸部までナデ調整、以下ケズリ調整(ケズリ痕は不明瞭)、一部ハケム調整	外面全体に煤付着
16	4	SS17 ~18	埋土	甕	口縁~頭部	1/10 以下	3.9	17.0	B	A	1	A	外面:にぶい黄褐色 内面:にぶい黄褐色	外面:口縁部は3条の平行沈線、以下ナデ調整、口縁下縁部は欠損 内面:口縁部ナデ調整、頸部以下ケズリ調整	
16	5	SD66	埋土	甕	口縁~頭部	1/10	3.5	10.9	B	A	1~2	A	外面:橙色 内面:明黄褐色	外面:口縁部は風化の高調整不明、以下ナデ調整、口縁上縁部は欠損 内面:口縁部はナデ調整、頸部以下はケズリ調整	外面にわずかに煤付着
16	6	SS17 ~18	埋土	高坏	口縁部	1/10 以下	2.5	14.6	B	A	1~2	C	外面:褐灰色 内面:にぶい黄褐色	外面:口縁部は3条の平行沈線、以下ハケム調整、口縁下縁部は欠損 内面:ハケム調整	口縁内外面に赤色顔料塗彩
16	7	SS17 ~18	埋土	長頸 甕	口縁部	1/6	5.8	10.5	B	A	1~2	A	外面:浅黄褐色 内面:浅黄褐色	外面:7条の平行沈線 内面:ナデ調整	
16	8	SS17 ~18	埋土	甕	口縁~頭部	1/10	6	16.6	B	A	1~2	A	外面:橙色 内面:橙色	外面:口縁部は2条の凹線、以下ナデ調整、腹部に刺突文が2段あり、以下ハケム調整、口縁上縁部は欠損 内面:口縁部から頸部までナデ調整、以下ケズリ調整	
16	9	SS17 ~18	埋土	甕	頭部	1/5	5.3		B	A	1	A	外面:褐灰色、橙色 内面:橙色、灰褐色	外面:頸部上部はナデ調整、頸部下部は4条の凹線 内面:頸部全体ナデ調整、以下ケズリ調整	
16	10	SS17 ~18	埋土	高坏	脚部	1/2	7.6		B	A	1~2	A	外面:にぶい黄褐色、 浅黄褐色 内面:にぶい黄褐色	外面:脚下半部はハケム調整、上半部は風化により調整不明 内面:脚部下縁部はナデ調整、上部はケズリ調整、上部には絞り痕跡や指頭圧痕あり	脚径:1.0cm 外面にわずかに赤色顔料塗彩
16	11	SS17 ~18	埋土	高坏	脚部	1/10 以下	1.9		B	A	1~2	A	外面:にぶい黄褐色 内面:にぶい黄褐色	外面:脚谷部は1条の浅い凹線、以上ナデ調整 内面:ナデ調整	脚径:1.33cm
16	12	SS17 ~18	埋土		底部	1/5	1.4		B	A	1~2	A	外面:橙色・橙色 内面:明黄褐色、灰黄褐色	外面:底部立ち上がりハケム調整、底面ナデ調整 内面:ナデ調整	底径:5.3cm
16	13		I	甕	口縁部	1/10 以下	2.1	17.6	B	A	1	A	外面:黄灰色、 にぶい、黄褐色 内面:黄灰色	外面:口縁部は2条の平行沈線、以下ナデ調整、口縁上縁部は欠損 内面:ナデ調整	
16	14		I	甕	口縁部	1/10	1.4	17.1	B	A	0.5	C	外面:橙色 内面:明黄褐色	外面:口縁部は2条の平行沈線、以下はナデ調整、口縁上縁部は欠損 内面:ナデ調整	口縁外面に少量の煤付着
16	15		I	甕	口縁~頭部	1/10 以下	3.1	17.3	B	A	1	1	外面:にぶい黄褐色 内面:にぶい黄褐色	外面:口縁部は1条の凹線、以下ナデ調整、頸部付近に刺突文あり、口縁上縁部は欠損 内面:口縁部から頸部までナデ調整、頸部下部よりケズリ調整	
16	16		I	甕	口縁部	1/8	2.3	14.6	B	A	1	A	外面:にぶい黄褐色、黒褐色 内面:黒褐色	外面:口縁部は6条の平行沈線、以下ナデ調整、口縁下縁部は欠損 内面:ナデ調整	
16	17		I	甕	口縁部	1/10 以下	2.8	12.3	B	A	1	A	外面:にぶい黄褐色、橙色 内面:にぶい黄褐色	外面:口縁部は6条の平行沈線、以下ナデ調整 内面:ナデ調整	口縁外面に少量の煤付着

18MN トレンチ3土器観察表															
18	1	SS16	埋土	甕	口縁~頭部	1/10 以下	3.7	17.1	B	A	1	A	外面:橙色 内面:橙色	外面:口縁部は上半部3条の平行沈線 内面:ナデ調整	
18	2	SS16	埋土	甕	口縁部	1/10 以下	2.6	14.7	B	A	1	A	外面:褐灰色 内面:にぶい黄褐色	外面:口縁部は10~11条の平行沈線文、以下ナデ調整 内面:ナデ調整	
18	3	SS16	埋土	甕	口縁~頭部	1/10	4.7	17.0	B	A	1~2	A	外面:にぶい黄褐色 内面:浅黄褐色	外面:口縁部はハケム調整、以下ナデ調整だが頸部上部に工具痕が残る 内面:口縁部はナデ調整、頸部以下ケズリ調整	頸部付近内外面に少量の煤付着
18	4	SS16	埋土	甕	口縁~頭部	1/10	4.8	18.6	B	A	1	A	外面:浅黄褐色 内面:浅黄褐色	外面:口縁部上部は1条の凹線、以下ハケム調整がわずかに残る、頸部上部よりナデ調整 内面:ナデ調整	
18	5	SS16	埋土	甕	口縁部	1/8	4.6	15.6	B	A	1	A	外面:にぶい黄褐色 内面:にぶい黄褐色	外面:ナデ調整 内面:ナデ調整	
18	6	SS16	埋土	甕	口縁部	1/10 以下	3.4	14.7	B	A	1	A	外面:浅黄褐色 内面:浅黄褐色	外面:風化の高調整不明 内面:風化の高調整不明	
18	7	SS16	埋土	甕	口縁~頭部	1/6	4.5	13.9	B	A	1	A	外面:橙色、にぶい黄褐色 内面:橙色、にぶい黄褐色	外面:口縁部は上半部に刺突文が残る、全体ナデ調整 内面:口縁部はナデ調整、頸部以下ケズリ調整	
18	8	SS16	埋土	甕	口縁部	1/10 以下	3.4	16.0	B	A	1	A	外面:浅黄褐色 内面:浅黄褐色	外面:風化の高調整不明、口縁上縁部は欠損 内面:ナデ調整	

I 妻木晩田遺跡の調査

挿図番号	遺構	層位	器種	残存部位	残存率	法量(cm)		焼成	胎土	砂粒の量		色調	調整等	備考
						器高	口径			大きさ	量			
18 9	SS16	埋土	甕	口縁～頸部	1/10以下	2.6	14.1	B	A	1	A	外面:浅黄橙色 内面:浅黄橙色	外面:口縁部以下ナデ調整,口縁上端部は欠損 内面:口縁部はナデ調整,頸部以下ケズリ調整	
18 10	SS16	埋土	甕	口縁～頸部	1/10以下	2.5	11.9	B	A	1~2	A	外面:にぶい橙色 内面:にぶい橙色	外面:口縁部から頸部はナデ調整,頸部付近工具痕が残る 内面:口縁部はナデ調整,頸部以下ケズリ調整	
18 11	SS16	埋土	甕	口縁部	1/10以下	2.5	13.2	B	A	1	A	外面:にぶい黄橙色 内面:浅黄橙色	外面:口縁部以下ナデ調整,口縁部のみハケス調整が残る 内面:ナデ調整	
18 12	SS16	埋土	高坏	脚部	1/5	2.5		B	A	1	A	外面:にぶい橙色 内面:橙色	外面:ナデ調整 内面:下部よりケズリ調整の後ナデ調整	底径:16.5cm
18 13	SS16	埋土	高坏	脚部	1/10以下	2.7		B	A	1~2	A	外面:橙色 内面:橙色	外面:ナデ調整,脚部下部端部は欠損 内面:ナデ調整	脚径:15.5cm
18 14	SS16	埋土		底部	1/6	1.4		B	A	1	A	外面:橙色 内面:橙色	外面:ナデ調整 内面:ケズリ調整	底径:5cm
18 15	SS16	埋土	器台	受部	1/6	5.6	17.8	B	A	1	A	外面:橙色 内面:にぶい橙色	外面:ナデ調整 内面:ナデ調整	
18 16	SD67	埋土	甕	口縁～頸部	1/10以下	2.8	17.4	B	A	1	A	外面:橙色,にぶい黄橙色 内面:橙色	外面:口縁部は波状文がわずかに残る,以下ナデ調整,口縁上端部は欠損 内面:口縁部はナデ調整,頸部以下ケズリ調整	
18 17	SD67	埋土	甕	口縁～頸部	1/10以下	4.4	14.7	B	A	1	A	外面:橙色 内面:にぶい橙色	外面:ナデ調整 内面:ナデ調整	
18 18	SD67	埋土		底部	1/4	3.4		B	A	1	A	外面:橙色 内面:橙色	外面:ナデ調整 内面:立ち上がり部分ケズリ調整,底面ナデ調整	底径:5.1cm 内面にわずかに煤付着

第8表 18MN石器観察表

凡例 1 挿図・番号は本文中の挿図番号に対応する。

2 法量について、残存値は△で示している。

挿図番号	遺構	層位	器種	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	石材	備考
13 S1	SI89	埋土	石鏃	4.9	2.1	2.2	21.6	蛇紋岩質凝灰岩	整形後、縦方向に1条、横方向に2条の溝が施されている。溝の断面は「V」字状。均質で柔らかい石材。同質の石は日野川西(長砂)や兵庫県〜京都府の北部海岸沿いで確認されている。
13 S2	S1	埋土	敲石	7.6	5.6	2.7	127.0	角閃石石英安山岩	大山円頂丘溶岩由来の石材。同質の石は阿弥陀川水系で確認されており、扁平な形状から海岸で採取されたものと推定される。
13 S3		II	敲石	7.2	5.3	2.3	104.9	角閃石石英安山岩	大山円頂丘溶岩由来の石材。同質の石は阿弥陀川水系で確認されており、扁平な形状から海岸で採取されたものと推定される。
13 S4	SI89	埋土	台石	19.5	19.7	9.0	5200.0	角閃石石英安山岩	節理に沿って割れた方形の石を利用しており、前面に磨り痕が見られる。大山円頂丘溶岩由来の石材。同質の石は阿弥陀川水系で確認されており、やや上流で採取された河床礫と推定される。
13 S5	SI89	埋土	磨石	10.0	4.7	2.3	153.8	輝石角閃石安山岩	S1やS2に比べやや色調が暗い。大山安山岩類由来の石材。同質の石は日野川水系で確認されている。
13 S6	SI89	埋土	くぼみ石	△15.7	14.1	9.3	△1901.9	角閃石石英安山岩	表面中央のくぼみの他、横方向に巡るように敲打痕が見られる。S2と同質。大山円頂丘溶岩由来の石材。同質の石は阿弥陀川水系で確認されており、不規則な形状から河床礫と推定される。
18 S1	SD67	埋土	石鏃	△1.3	1.2	0.4	△0.4	黒曜石	凹基式。
18 S2	SS16	埋土	敲石	10.3	10.0	5.0	758.3	大山安山岩の溶岩	全面に敲打痕が見られる。流理構造が確認できることから溶岩と考えられる。

第9表 18MN鉄器計測表

凡例 1 挿図・番号は本文中の挿図番号に対応する。

2 長さ、幅、厚さは全て残存値である。

挿図	番号	遺構番号	層位	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	種類
18	F1	SS16	埋土	2.8	3.0	1.0	板状鉄器